

# 会報

# うでまくり



F J P

福島県女性経営者プラザ

## いざ！腕まくりの秋



福島県女性経営者プラザ

会長 三田 公美子

福島県の漂流は、3・11以降一年半を経過した今でもとめどなく続いています。被災者の方はもちろん、県民全てが風評被害にさらされて、先のあてもなく茫然とその日暮らしを送っているといっても過言ではありません。

しかしこの国がこんなに無為無策でここまでひどいとはさすがに思っていませんでしたね。魚は頭から腐るといいますが、この国も、政治家、官僚、東電をはじめとする大企業、さらにはマスコミ。どちらをみても口ばっかり

で、しよせん他人事。みごとに腐り切っていました。

とは言え、そういうエスタブリッシュメントに丸投げして、自立や自己責任を忘れて、のうのうと日を過ごしてきた私たちも余りにも脳天気でありました。あちこち糾弾しても、天に向ってツバを吐くようなものです。

エラそうなことを言うようですが天災は仕方ないとして、東京電力福島原発事故と放射能飛散という人災が突きつけたものは、国も人もふわふわスカスカであった日本の現実だと思えます。そして、十分な統括も反省もないままに、大飯原発の再稼働を行ない、

- ◆ F J P の目的 ◆
- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

竹島や尖閣の騒ぎに乗じて、今や原発より国の領土問題などと言いたてている知識人なる人たち。

こんなにもふわふわスカスカであった日本の実体を、とことん身にしみたのは、我ら福島県民ですから、今後は福島県の運命は、福島の人たちで、しっかりと決めてゆくことにしましょう。

すぐには無理でも、千年かかろうと森、山、川、海：美しい福島を取り戻し、子どもたちの笑い声が、ほんとうの空に響き合う福島を、もう一度つくってゆきましょう。

それには、女性たちが本気にならないとできません。地域を立て直してゆくとためには、暮らしの再建がなんといつても基盤ですから。

朝雨女の腕まくり、とからかわれてもなんのその、F J P の皆さん、企業で、家庭で、地域で、腕まくりの時が来ました。地域のために、福島のために、何より子どもたちの未来のために、本気で活動しましょう。

●うでまくりとは  
古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。F J P、女の腕まくりの真価はこれから！という意味も

## 後期活動報告

平成23年度定例会

- 11 / 20 大型講演会  
《郡山市・ビューホテルアネックス》  
講師 コシノヒロコ  
ふたたび 絆について  
クリスマスパーティー
- 12 / 13 新年会  
《二本松市・陽日の郷あづま館》  
本田知美コンサート  
定例会
- 2 / 14 《福島市・茶寮おりおり》  
会員に聞く、山田直美、岡部恵久子会員  
まとめ例会
- 3 / 13 《福島市・ウエディングエルティ》  
次年度事業計画について





復帰しました！

(郡山市) 瀬戸 孝子



平成二十四年度総務委員会副委員長の瀬戸孝子です。女性経営

者プラザには十年以上もお世話になりながら一度退会しましたが、また新たに入会させていただき皆さんのお仲間になりました。以前同様に暖かく私を迎えて下さり、大変うれしく思っております。私も還暦を迎え、残りの人生を今まで以上に有意義に過ごせるように努力していきたいと思えますし、女

性経営者プラザの会員の一人として何かお役に立てれば！と考えております。

これからは女性経営者プラザがますます発展するように皆さんと共に会を盛り立てていきましょう！今後共、宜しくお願い致します。

笑顔は元気の素

(福島市) 小林 志津子



私の大好きな言葉に「和顔愛語」という言葉があります。「和顔」とは和やかな顔、「愛語」とは優しい言葉。和やかな笑顔と、愛情のこもった優しい言葉が、まわりの人達の心をちよっぴり元気にしてくれるのを知っていましたか？

私は、たくさんの人達に支えられて今日があります。娘三人を連れて嫁ぎ先を飛び出し、無我夢中で生きてきた八年。少しだけ心にも体にも余裕が持てるようになった今、支えてくれた方々の為にも「和顔愛語」。

忙しい時でも、怒りっぽい時でも、私は私なりの素敵な笑顔(チャーミング)

グとも言う)で、たくさんの人達に元気をあげられるような心がけ、これからも頑張っていきたいと思えます。

大切な娘へ、ありがとう

(本宮市) 小山 美和



「又ね。」顔で笑って心で泣いて、そして私の頬は涙が流れてく。

新幹線の内からは精一杯の作り笑顔の娘。そう、私は原発事故で娘を福島から出した母親、東京行きを勧めた母親だ。帰省した娘にとって、楽しかった本宮夏祭り。御飯、洗濯と自分でやらずに居れる楽な自宅。まだ自宅に居たいと連呼し、そして「明日から部活。切り替えよ。」と呟き、福島を後にした。

果たしてこの選択が良かったと言えるのか？ 帰路につく中、何も変わらない夏の風景から焦りや迷いが生じた。いや、いいんだ、いいんだ。私に不安を与えまいと精一杯の作り笑顔で新幹線の内から手を振るまでに成長した事は喜ばしい事じゃないか？

お母さんも寂しさになんて負けない。

今更ながら焦りは止める。応援のみ。大切な娘よ、成長してくれて有難う！

福島をあきらめない

(二本松市) 鈴木 美砂子



3・11のあの日、旅館の女将である私は、三時によこすと言われ

た千名の団体予約の電話を、今か今かと待っていた、そしてあの地震。宿泊客の避難誘導、怯えるお客様に「中」大丈夫です。安心して！」と言いつつ出た。何日か後、その皆様を無事送り出し、ホッとすることを待っていたかのように、あのあつてはならない水素爆発が。それから毎日毎日キャンセルの電話の嵐。全ての予約がゼロとなり、それでも何とか持ち堪えていた心が仲間の旅館が地震だけでなく、福島を襲った原発事故によって廃業せざるを得ないとの連絡に、とうとう折れてしまった。そこに避難所を何ヶ所も移らされた浪江からの皆さん三百名に加え、最後の夏を迎えんが為、親元を離れた四人の高校球児。皆さんのお母さん役をさせて頂き、毎日お弁当をつ

くってお世話をさせていただいたお陰で今の私があるのです。この子供達の為にも、私達はこの福島をあきらめず、訳にはいきません。自分は「福島っ子です」と胸を張って言ってもらう為にも、正にこれからがふんばりどころ！折れてはいられません。

**女性経営者の視点で  
ふるさと再生に奇跡を**

(いわき市) 会田 和子



いわき市は海の幸、山の幸に恵まれた自然環境豊かなまち。年間

日照時間も長く寒暖の差も小さく、「東北の湘南」と呼ぶ人もいました。このまちで多くの仲間たちと豊かに生き生きと暮らしていきたくらいと願い、会社を創りました。Uターンして二十年、日を重ねる毎に、わがまちの良さを再認識し、地域資源を自慢にしながら仕事に没頭してきました。原発事故が発生するまでは。

福島の女性とは結婚しないほうが良い、と公に発言する輩がいると聞いて怒りを覚えました。事実として観光

資源も農地も失われ、子供を育てにくいまちになりました。だからこそ、今まで以上に腕まくりです。

これからの十年、グリーン経済も地元再生も家庭が主役。未来の子供たちのために、女性の知恵で奇跡を起こしていきたいものです。

**夢をみせてもらった本**

(福島市) 菅野喜久江



伊集院静の「アフリカの王」、脱サラした三十六歳の黒田という

青年を取り巻く破天荒な人達の無謀とも言えるプロジェクトを達成するまでの話で、ケニアのマサイマラ国立保護区に、旨い酒と料理、人が自然の中で動物たちに居場所をチョコッと借りて自分を解放できる場所を造りたい一念で、アル中の画家、ホームレスの元彫刻家、植物学の研究者、ホテル経営者、腕が良いが小さい店のシェフ、黒田の元同僚達の資金無し夢と冒険心だけのメンバーである。自然の脅威、現地人の裏切り等の挫折を繰り返し遂に五年かけて完成するのである。

**公開講演会**

**「FJPN」**

**— ふたたび、絆について**

二〇一二年十一月二十日、郡山市ビューアネックスでファッションデザイナーのコシノヒロコさんの講演会を開催しました。コシノさんは、三年前にパリコレに再デビュー。ルーブル美術館で開かれたファッションショーが上映され、なかなか見る事の出来ない



コシノヒロコ (中央) を囲んで

世界を見ることができました。コシノさんは、NHK連続TV小説『カーネーション』のモデルとなった小篠綾子さん(故人)の長女として生まれました。母綾子さんの子育て法を披露しながら、デザイナーとして活躍する三人の娘のショーを欠かさず見てくれたこと、母の批評を聞くのが楽しみだったこと、母は子どもの一番良い所を見ていてくれたことなどを話され、ユニークな綾子さんとのエピソードなども紹介したりして、会場は終始和やかな雰囲気になりました。一流のデザイナーというよりも、親しみ感に溢れたコシノヒロコさんの人柄がとても魅力的でした。この講演会はコシノさんと郡山市の服装デザイン会社社長の鈴木尚子さんが文化服装学院時代の同級生だった縁で実現したものです。講演会終了後、FJPN会員との懇親会においてもコシノさんの若さと魅力に圧倒されながらも、楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回の講演会をきっかけに、コシノヒロコさんのファンがまた増えたのではないのでしょうか。





# ごちそうふくしま満喫フェア2012

福島県の美味しいものを一堂に集めた「ごちそうふくしま満喫フェア」が9月8日、9日と郡山ビッグパレットで開催されました。  
 主催：地域産業六次化推進協議会、福島県



ふくしま八重隊もダンスで観光PR



福島県女性経営者プラザは今年二回  
 目の出店でしたが、参加メンバーはさ  
 すが！出店二百二店舗の中でもどこ

にも負けないパワーを發揮！ 圧倒さ  
 れた人も多かったのではないでしょ  
 うか。

いわきから さんまの  
 ポッポ焼かまぼこ、会  
 津から鰯の山椒漬、地  
 物の野菜、須賀川から阿  
 部農縁の手造り惣菜や  
 梨、郡山から麴ドレッシ  
 ング、福島から可愛いメ  
 モ帳…そして郡山名物  
 グリーンカレーと、メン  
 バー総出で商品の売り込

輝かせてお兄さんの作る  
 風船のお花やアンパンマ  
 ン、トトロに夢中でした。

風船アート  
 に並ぶ子ども  
 達も、目を

また、ス  
 テージでは子  
 供も楽しめる  
 さまざまな  
 ショーが繰り  
 広げられ、福  
 島にこんな  
 子供がいたの  
 か！と感動  
 も。



みに熱中した二日間。さて売上げはど  
 うだったのでしょうか。  
 二日間で延べ五万人の来場者に会場

内は熱気に溢  
 れ、人気ブー  
 スでは長蛇の  
 列。歩くのも  
 大変な中、経  
 営者プラザの  
 会員も販売の  
 傍ら、持てな  
 いほどの買い  
 物を満喫した  
 二日間です。



がんばるゾー!!

# 放射線に関する勉強会——移動例会

二〇二二年五月十五日、相馬市 松川浦温泉 ホテル飛天

FJP五月の移動例会は、日本放射線影響学会から三人の講師（松本義久・東京工業大学准教授、松本英樹福井大学准教授、渡邊正己京都大学名誉教授）をお招きして放射線の勉強会「放射線の人体影響」と題したセミナーを開催した。

郡山からバスで福島を経由、霊山、



飯館を通り、津波被害の大きかった相馬市松川浦へ向かうこと二時間半、ホテル飛天を会場に、会員と一般合わせて三十三名の参加があった。もともと少人数でとことん放射線について学ぼうというのがセミナーの目的。震災以降、放射能に関しての勉強会はあちこちで行なわれているが、聞いているうちに不安が多くなる傾向のものも少なくない。今回は、どんな質問でも分かりやすく丁寧に教えていただき、殆んどの人が目からうろこ：「安心した」という意見が多かった。

先生方は、「科学的根拠に基づいて情報を提供するが、それをどう判断するかはその人に委ねる」とし、そのためにも質疑応答に力を入れ、意見が偏らないように複数の専門家で対応しているとのこと。新聞やテレビ、インターネット、個人のブログなどの情報で右往左往する傾向が多い中、不安なら勉強する—という姿勢が安心につながるというもの。安心は与えてもらうものではなく、福島に住む私達が正しい知識

識を学んでいくことに他ならない。それが子供たちの元気につながり、福島の安心と安全につながっていくように思う。

放射線影響学会とは、放射線が人体や生物、そして環境に及ぼす影響を研究している広い分野の専門家で組織さ

れている学術団体で、震災以降は「放射線健康影響説明Q&A講演会」を各地で開催し、被災者の不安を少しでも解消できるよう活動しています。十一名の講師が在籍しており、今回のFJPの講演会は第二十五回目。八月末で既に三十五回を数えている。

## 平成24年度事業計画

- 4 / 10 第17回 定時総会  
《福島市・ウェディングエルティ》  
講師 島康子氏  
まぐろのまち 大間の町おこし
- 5 / 15 移動例会  
《相馬市・松川浦 ホテル飛天》  
講師 松本英樹、松本義久、渡邊正己先生  
放射線の勉強会
- 6 / 12 定例会  
《郡山市 バンブーン》  
会員に聞く 会田和子、安達美恵子、小山美和会員  
定例会
- 7 / 11 《二本松市 花季》  
講師 佐藤 栄佐久氏  
福島原発の被災と  
これからの福島  
各委員会活動
- 8 / 8・9 《郡山市 ビッグパレット》  
ごちそうふくしま、  
満喫フェア2012 出店
- 9 / 16 交流活動  
滋賀県 県知事の表敬訪問
- 10 / 16 福島からの避難者との交流会  
定例会 経営セミナー  
《本宮市 アサヒビール園》  
講師 加賀美 昇工場長  
定例会
- 11 / 13 《郡山市駅前 ビッグアイ》  
講師候補者  
①TTマネジメント研究所  
所長 高橋 俊雄氏  
②磐梯熱海温泉  
離れの宿 よもぎ埜  
オーナー 石橋 孝子氏  
定例会
- 12 / 11 《本宮市 リバーサイド》  
定例会
- 平成25年
- 1 / 8・9 新年会  
《二本松市 陽日の郷 あつま館》  
定例会
- 2 / 19 《福島市 茶寮おりおり》  
会員に聞く  
まとめ例会
- 3 / 12 《福島市 ウェディングエルティ》  
新年度の計画



# ★定例会 Pickup★ 2011年11月 ~2012年9月



コシノヒロコさん

## 大型講演会



女性経営者プラザをよろしく〜〜

2011.11.20 郡山市ビューホテルアネックス  
「ふたたび、絆について」



2012.1.17 二本松市「陽日の郷 あづま館」  
本田知美さんのコンサート



## 新年会



1万円の食事券  
1等賞は誰の手に?



欲しい…



聞き手/三田会長 山田直美さん 岡部恵久子さん  
2012.2.14 茶寮おりおり

## 会員に聞く



2012.7.11 二本松市 花季  
講師：佐藤栄佐久氏

## 勉強会

●編集後記  
熱闘甲子園、連夜熱き興奮感動のオリンピック、猛暑日、熱帯夜、油照り。こんな言葉がいくつも重ねられた復興元年。今年のおつらい夏。一日も早い涼風の立つ日の為に、体力気力、思考回路の修復、再生モード全快！残り夏さようなら。 Y・T

### 原稿募集

第9号のリレーエッセイは 石橋昭子さん→中原未都子さん→小林敦子さん→山田直美さんです。  
宜しくお願いします。

\*原稿締切  
2013年2月末日  
—交流広報委員会まで—

●新入会員  
石橋産業開発株式会社  
専務取締役 石橋 昭子さん  
株式会社中原商事 副社長 中原未都子さん  
オフィス喜多見 代表 小林 敦子さん

### ● 会員募集 ●

FJPでは、女性ならではの感性を研ぎ澄まし、時代を見すえた情報の受・発信に取り組んで参ります。新しい仲間の入会を心よりお待ちしております。  
・入会についてのお問い合わせ、お申込みは  
TEL (024) 524-3232  
FAX (024) 524-3434  
㈲おりおり 横山りつ子  
mail:fjpsomu@hotmail.com